

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

平成 27 年 2 月 17 日 午後用

第 66 回 獣 医 師 国 家 試 験 学 説 試 験 問 題 (B)

注 意 事 項

1. 問題数は、80 問であり、解答時間は 2 時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを 1 つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1 問につき 2 つ以上マークした場合には、そのうちの 1 つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問81 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

81 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうち E 3 ☑を横線で、
81 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ず HB の鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……   

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

問1 殺虫薬であるメトプレンの作用機序はどれか。

1. 成虫化の阻害
2. コリンエステラーゼ阻害
3. グルタミン酸受容体阻害
4. アセチルコリン受容体阻害
5. Na⁺チャンネル阻害

問2 ヒ素中毒の治療薬はどれか。

1. プラリドキシム
2. アトロピン
3. ビタミンK
4. メチレンブルー
5. ジメルカプロール

問3 ある抗菌薬を体重20kgの犬に静脈内投与（10mg/kg）後、経時的に採血したところ、血漿中濃度時間曲線下面積（AUC）は63.40 μg/hr/mlと算出された。全身クリアランスはどれか。

1. $0.16 \text{ l/hr/kg} \doteq 10/63.40$
2. $0.32 \text{ l/hr/kg} \doteq 63.40/(10 \times 20)$
3. $3.15 \text{ l/hr/kg} \doteq 20 \times 10/63.40$
4. $3.17 \text{ l/hr/kg} = 63.40/20$
5. $6.34 \text{ l/hr/kg} = 63.40/10$

問4 ジゴキシンの薬理作用として誤っているのはどれか。

1. 心拍数減少
2. 浮腫軽減
3. Na^+ - K^+ -ATPase 阻害
4. 尿量減少
5. 心筋の収縮力増加

問5 甲状腺疾患治療薬に関する記述として正しいのはどれか。

- a レボチロキシンナトリウムはリオチロニンナトリウムが無効な場合に使用される。
- b レボチロキシンナトリウムは内因性サイロキシン様に機能する。
- c チアマゾールは甲状腺ペルオキシダーゼに作用する。
- d プロピルチオウラシルはチロキシンの合成を促進する。
- e ヨウ素含有製剤は甲状腺機能低下症治療薬である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問6 小膠細胞が関与する変化はどれか。

- a グリオーシス
- b 肥満膠細胞の出現
- c グリア結節
- d 桿状細胞の出現
- e 衛星現象

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問7 中枢神経系の疾患とその主な病理組織所見の組合せとして適当でないのはどれか。

疾患	病理組織所見
1. リステリア症	微小膿瘍
2. ヒストフィルス・ソムニ感染症	血栓塞栓症
3. オーエスキー病	核内封入体
4. 鶏脳脊髄炎	中心性色質融解
5. 日本脳炎	ヨースト・デーゲン小体 (Joest-Degen 小体)

問8 牛の栄養性筋症に関する記述として誤っているのはどれか。

1. ビタミンE欠乏が原因となる。
2. 肉眼所見から白筋症ともいわれる。
3. 病変は左右対称性にみられる。
4. 成牛での発生が多い。
5. 血清クレアチニンホスホキナーゼが上昇する。

問9 ヘモフィルス属の細菌を病原体とする疾患はどれか。

1. 犬の膿皮症
2. 家きんチフス
3. ミンクの出血性肺炎
4. アユの冷水病
5. 豚のグレーサー病

問10 我が国での取扱いレベルがBSL3のウイルスとして最も適当なのはどれか。

1. ラッサウイルス
2. エボラウイルス
3. ニューカッスルウイルス
4. リフトバレー熱ウイルス
5. 悪性カタル熱ウイルス

問11 クロストリジウム属の細菌に関する記述として適切なのはどれか。

- a 悪性水腫の原因菌は土壌や動物の腸管内に分布している。
- b 気腫疽菌は抗酸菌染色で赤色に染まる。
- c ボツリヌス菌による食中毒は下痢を主徴とする。
- d 破傷風菌はリパーゼを産生する。
- e ウェルシュ菌は鞭毛をもたない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問12 バクテリオシンに関する記述として適切なのはどれか。

1. 細菌の細胞壁成分として利用されるアミノ酸である。
2. 細菌の鉄利用に関係するタンパク質である。
3. 細菌が産生する殺菌性のあるペプチドやタンパク質である。
4. 細菌が集団で固着するために分泌する多糖類である。
5. 細菌の核酸成分として利用されるヌクレオチドである。

問13 豚流行性下痢に関する記述として適切なのはどれか。

1. 病原体には5つの血清型がある。
2. 我が国では2007年以降発生が認められていない。
3. 母豚の死亡率は一般に50%以上である。
4. 伝染性胃腸炎と症状が酷似している。
5. ワクチンは生後2～3日の子豚に接種する。

問14 猫汎白血球減少症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 病原体は環境中で直ちに感染性を失う。
2. 垂直感染しない。
3. 病変部には細胞質内封入体が観察される。
4. 病原体は分裂細胞で効率よく増殖する。
5. 主に呼吸器症状を起こす。

問15 東部馬脳炎とベネズエラ馬脳炎の特徴の組合せとして正しいのはどれか。

- | 東部馬脳炎 | | ベネズエラ馬脳炎 |
|-----------------|-------|-----------|
| 1. 家畜伝染病（法定伝染病） | ————— | 届出伝染病 |
| 2. 三類感染症 | ————— | 四類感染症 |
| 3. 病原体は野鳥で増幅 | ————— | 病原体は馬で増幅 |
| 4. 病原体は蚊が媒介 | ————— | 病原体はダニが媒介 |
| 5. ワクチンあり | ————— | ワクチンなし |

問16 我が国における豚コレラの清浄化に関する記述として正しいのはどれか。

1. 病原体の抗原性が単一ではないので困難であった。
2. 我が国とオーストラリアのみが成功している。
3. 徹底した不活化ワクチン接種が行われた。
4. 発生農場の半径 10 km 以内に飼養される豚の予防的殺処分が行われた。
5. 清浄化後はワクチン接種が中止されている。

問17 普通円虫 (*Strongylus vulgaris*) に関する記述として正しいのはどれか。

- a 口腔内の背側のみに歯が存在する。
- b 中間宿主はササラダニ類である。
- c 虫卵の形態のみで本種を特定できる。
- d 寄生（虫）性動脈瘤の原因は第3期子虫である。
- e 成虫の産卵場所は主に盲腸や結腸である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問18 赤痢アメーバ (*Entamoeba histolytica*) に関する記述として正しいのはどれか。

1. 霊長類のみが感染する。
2. 寄生部位は小腸下部から上行結腸に限られる。
3. 特徴的な腸病変はフラスコ状潰瘍である。
4. 栄養型虫体の大きさは 100 ~ 200 μm である。
5. 嚢子（シスト）内には、しばしば赤血球が取り込まれている。

問19 一般生菌数（一般細菌数）に関する記述として正しいのはどれか。

- a 25℃で培養して計測する。
- b 標準寒天培地を用いて計測する。
- c 試料の希釈液と培地を混合して冷却凝固させた後に培養する。
- d 72時間培養後に計測する。
- e 乳糖を分解するコロニーのみを計測する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問20 食品添加物に関する記述として正しいのはどれか。

- 1. 指定添加物とは「食品衛生法」に基づき指定されている天然添加物である。
- 2. 既存添加物とは使用実績がある化学合成品である。
- 3. 天然香料が食品に使用されても食品添加物としては扱われない。
- 4. 一般飲食物添加物とは一般に食品として飲食に供されているものである。
- 5. 1日許容摂取量は1日だけならばヒトが摂取しても健康に影響しない量である。

問21 「と畜場法」に規定される切迫とさつが可能となる事由のうち、と畜場外での解体も可能なのはどれか。

- 1. 自家用
- 2. 不慮の災害による負傷
- 3. 難産
- 4. 産褥麻痺
- 5. 急性鼓張症

問22 ダニ媒介性脳炎に関する記述として適切なのはどれか。

- a 病原体はトガウイルス科のウイルスである。
- b 反芻獣ではラクダのみが特異的に感染する。
- c 分布域はサハラ砂漠以南のアフリカ大陸である。
- d 感染マダニの吸血以外の経路によってもヒトへの感染が起こる。
- e ウイルスは感染マダニからその卵に伝達される。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問23 ブルセラ病およびその病原体に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. 感染動物の流産胎子が感染源となる。
- 2. 感染動物の乳を介してヒトに感染する。
- 3. 感染したヒトでは波状熱がみられる。
- 4. 我が国では急速凝集反応により感染牛をスクリーニングしている。
- 5. 我が国において感染牛は抗生物質により治療している。

問24 Q熱に関する記述として適切なのはどれか。

- a 病原体は環境中で容易に死滅する。
- b ノミによって媒介される。
- c 犬への感染が確認されている。
- d 加熱不十分な乳によりヒトへの感染が起こる。
- e 抗生物質による治療は無効である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問25 ヒトのトキソプラズマ症に関する記述として適切なのはどれか。

- a 病原体はピロプラズマ属の原虫である。
- b コウモリの糞便を吸引することで感染する。
- c 中南米やアフリカ大陸での発生は認められていない。
- d 妊婦が初感染すると胎児が先天性トキソプラズマ症を発症する。
- e 免疫不全患者が感染すると重症化しやすい。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問26 環境汚染物質に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. PCB 類は皮膚ざ瘡を引き起こす。
- 2. 鉛は溶血性貧血を引き起こす。
- 3. トリブチルスズは海産巻貝類のインポセックスの原因物質とされている。
- 4. アスベストの吸入曝露により悪性中皮腫が引き起こされる。
- 5. カドミウムの主な毒性標的器官は骨である。

問27 ある疾患がヒトや動物の生命を脅かす程度を表す指標として最も適切なのはどれか。

- 1. 致命率
- 2. 発生率
- 3. 死亡率
- 4. 有病率
- 5. 罹患率

問28 母集団を構成する全ての要素に番号を付けておき、最初の標本を無作為に選んだ後、一定の間隔で標本を抽出する方法はどれか。

1. 系統無作為抽出法
2. 有意抽出法
3. 単純無作為抽出法
4. 層別無作為抽出法
5. 集落無作為抽出法

問29 環境に関する国際条約とその説明の組合せとして正しいのはどれか。

国際条約	説明
1. ワシントン条約	——— 絶滅危惧の野生動植物の国際取引に関する条約
2. モントリオール議定書	—— 水鳥の生息地としての湿地保全に関する条約
3. バーゼル条約	——— オゾン層の保護に関する具体的な国際取決め
4. ラムサール条約	——— 地球温暖化物質の排出を抑制する条約
5. スtockホルム条約	——— 廃棄物の越境移動およびその処分に関する条約

問30 我が国の廃棄物に関する記述として正しいのはどれか。

1. 工場や事業所のゴミは全て産業廃棄物として処理しなければならない。
2. 豚の死体は全て産業廃棄物として処理しなければならない。
3. 血液の付いたガーゼは全て感染性廃棄物として処理しなければならない。
4. 患者由来の組織片は小さければ一般廃棄物として廃棄してよい。
5. 特別管理廃棄物とは爆発性、感染性および毒性のあるゴミである。

問31 放射線に関する記述として正しいのはどれか。

- a インドのケララ地方は極めて放射線レベルが高い地域である。
- b 食品には放射線核種は含まれていない。
- c 岩石に含まれる ^{238}U の半減期は約 1,000 年である。
- d ラドンは肺に取り込まれるが内部被ばくを引き起こさない。
- e 蛍光灯のグローランプには放射性同位元素が含まれている場合がある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問32 二次汚染物質であるオキシダントが原因となった事件はどれか。

- 1. ロサンゼルス・スモッグ
- 2. ドノラ事件
- 3. ミューズ渓谷事件
- 4. ポザリカ事件
- 5. 別子銅山煙害事件

問33 「食品中の残留農薬等に関する制度（ポジティブリスト制度）」に関する記述として正しいのはどれか。

- 1. 「農薬取締法」で定められている。
- 2. 家畜に投与された動物用医薬品は規制対象外である。
- 3. 畜産農場や圃場における残留基準値が定められている。
- 4. 輸入食品にも適用される。
- 5. 残留基準値は全ての品目において 0.01 ppm の一律基準である。

問34 アライグマ回虫症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 病原体は *Toxocara canis* である。
2. 病原体の幼虫の大きさは 0.5 mm 以下である。
3. アライグマでは水様性の下痢がみられる。
4. ヒトはアライグマの糞中の幼虫を経口摂取することで感染する。
5. ヒトでは重篤な中枢神経障害を起こすことがある。

問35 我が国における食中毒に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 腸炎ビブリオ食中毒は海産魚介類の生食が原因となることが多い。
2. 腸管出血性大腸菌による食中毒では腎障害を起こすことがある。
3. セレウス菌食中毒のほとんどが嘔吐型である。
4. カンピロバクター食中毒の発生は8～9月に特に多い。
5. ウェルシュ菌による食中毒は1事件当たりの患者数が多い。

問36 畜舎の消毒薬として適切でないのはどれか。

1. 水酸化カルシウム
2. 次亜塩素酸ナトリウム
3. 塩化ジデシルジメチルアンモニウム
4. エチレンオキシド
5. グルタルアルデヒド

問37 飼養衛生管理基準に関する記述として正しいのはどれか。

1. 基準が策定されているのは牛、豚、鶏および馬の全4畜種である。
2. 管理区域の設定には、塀やフェンスなどの物理的障壁が必須である。
3. 野生動物からの病原体の感染防止に努める必要がある。
4. 特定症状を認めた場合は、必ず家畜の所有者を介して都道府県に通報する。
5. 「獣医療法」で規定されている。

問38 我が国の種鶏に関する記述として適切なのはどれか。

- a 素雛を生産するために雌雄同数で飼養されている。
- b 平飼いで群飼されている。
- c コマーシャル鶏よりもバイオセキュリティは高く維持されている。
- d 雄ではビークトリミングや断冠は行われていない。
- e 種卵は産卵場所のネストで親鶏に抱卵させて孵化させる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問39 我が国における畜産廃棄物の処理・利用に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 胆嚢は不可食臓器として処理される。
2. 卵殻はフェザーミールとして利用される。
3. ホエーは製菓原料として利用される。
4. 骨はミートボーンミールとして利用される。
5. 血液は肥料として利用される。

問40 家畜の輸送ストレスと輸送疾患に関する記述として適切なのはどれか。

- a 牛では細胞性免疫の機能が高くなる。
- b 豚ではむれ肉が問題となっている。
- c 馬では体温が40℃を超えると肺炎を起こす可能性が高くなる。
- d 馬では発熱直前まで血中のACTHは上昇しない。
- e 馬では輸送テタニーがしばしば認められる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問41 薬物組織移行の点から犬の細菌性前立腺炎の治療に適している抗菌薬はどれか。

- a アンピシリン
- b アモキシシリン
- c セファゾリン
- d エンロフロキサシン
- e トリメトプリム - スルファジアジン

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問42 疾患とそれに伴い認められる貯留液の性状の組合せとして適切なのはどれか。

- | 疾患 | 貯留液の性状 |
|----------|--------|
| a 犬糸状虫症 | 漏出液 |
| b 細菌性腹膜炎 | 漏出液 |
| c 肝硬変 | 滲出液 |
| d 糸球体腎炎 | 滲出液 |
| e 癌性胸膜炎 | 滲出液 |

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問43 犬、雑種、3ヵ月齢。元気消失と下痢を主訴に来院。下痢は粘血便であり、糞便検査において消化管内寄生虫の寄生は確認されなかった。血液検査では重度の白血球減少症が認められた。同腹の1頭も同様の症状を呈して2日前に斃死していた。最も疑われる疾患はどれか。

1. 胃内異物
2. 腸閉塞
3. カンピロバクター症
4. 犬パルボウイルス病
5. 犬コロナウイルス感染症

問44 血栓形成を促進する因子として誤っているのはどれか。

1. 血流量の低下
2. 血液の乱流
3. 血管内皮細胞の傷害
4. 線溶因子の増加
5. 血液粘稠度の上昇

問45 慢性腎不全（慢性腎臓病）における貧血の原因として適当でないのはどれか。

1. 消化管出血
2. 赤血球寿命の短縮
3. 栄養状態の悪化による赤血球産生の低下
4. エリスロポエチンの産生低下
5. 腎臓からの出血

問46 ワルファリン中毒の治療に用いられるビタミンはどれか。

1. ビタミン A
2. ビタミン B₆
3. ビタミン D₃
4. ビタミン E
5. ビタミン K

問47 犬で血小板減少症を呈する病態として適当でないのはどれか。

1. 播種性血管内凝固 (DIC)
2. バベシア症
3. フォン・ヴィレブランド病
4. エバンス症候群
5. 再生不良性貧血

問48 犬と猫のシュウ酸カルシウム尿石症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 雄より雌で発生が多い。
2. 酸性尿に比べアルカリ尿で発生リスクが高い。
3. ビタミン C の多給は結石の形成を促進する。
4. ビタミン D の多給は結石の形成を抑制する。
5. 適切な食事療法により容易に溶解する。

問49 犬の低コレステロール血症の原因として適切なのはどれか。

- a 副腎皮質機能亢進症
- b ネフローゼ症候群
- c タンパク漏出性腸症
- d 先天性門脈体循環シャント
- e 胆汁うっ滞

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問50 猫の糖尿病に関する記述として適切でないのはどれか。

- 1. 肥満猫は発症リスクが高い。
- 2. 雌より雄で発症リスクが高い。
- 3. 経口血糖降下剤が有効な場合がある。
- 4. ヒト型遺伝子組換えインスリン製剤は無効である。
- 5. 代表的な合併症として末梢神経障害がある。

問51 犬のアトピー性皮膚炎の治療薬として適当でないのはどれか。

- 1. コルチコステロイド
- 2. シクロスポリン
- 3. イトラコナゾール
- 4. インターフェロンγ
- 5. 抗ヒスタミン薬

問52 犬の皮膚糸状菌症に関する記述として誤っているのはどれか。

1. ウッド灯検査で検出できる病原菌は *Microsporum canis* のみである。
2. 抗真菌薬の内服が治療法の1つである。
3. 皮膚糸状菌の培養にはサブロー寒天培地またはDTM培地が用いられる。
4. 分離頻度が最も高い病原菌は *Trichophyton mentagrophytes* である。
5. 毛刈りや被毛皮膚の洗浄は重要な治療法の1つである。

問53 犬や猫の急性膀胱炎の治療法として適切でないのはどれか。

1. 輸液療法
2. 低脂肪食の給与
3. 制吐剤の投与
4. 鎮痛剤の投与
5. 消化酵素剤の投与

問54 牛の尿石症に関する記述として適切なのはどれか。

- a 尿のpHが上昇すると結石ができやすい。
- b 塩化アンモニウムの経口投与で治療効果が期待できる。
- c 去勢雄での発症はまれである。
- d シュウ酸カルシウムを主成分とする結石が多い。
- e ビタミンAの過剰投与は誘因になる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問55 泌乳牛の脂肪肝に関する記述として適切でないのはどれか。

1. 血中遊離脂肪酸濃度が上昇する。
2. 泌乳後期に多発する。
3. 予防には負のエネルギーバランスにならないようにする。
4. 血清コレステロール値の低下が認められる。
5. インスリン非依存性の糖の投与は治療効果が期待できる。

問56 成牛の盲腸拡張症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 直腸検査で盲腸を触知できることが多い。
2. 粗飼料主体の給餌で発生しやすい。
3. 外科的処置が必須である。
4. 排便量に変化はない。
5. 主に右下腹部が膨隆する。

問57 牛の硝酸塩（硝酸態窒素）中毒におけるチアノーゼの原因はどれか。

1. 高アンモニア血症
2. エンドトキシン血症
3. マイコトキシン血症
4. ケトン血症
5. メトヘモグロビン血症

問58 左室内径短縮率の評価に最も適した心エコー図検査はどれか。

1. Bモード検査
2. Mモード検査
3. カラードプラ検査
4. パルスドプラ検査
5. 連続波ドプラ検査

問59 肺水腫と関連が最も強い胸部 X 線所見はどれか。

1. 後大静脈の拡大
2. 気管支パターン
3. 主肺動脈の拡大
4. 胸水貯留
5. エアブロンコグラム

問60 犬で心タンポナーデを併発しやすい腫瘍はどれか。

1. 血管肉腫
2. アポクリン腺癌
3. 肥満細胞腫
4. 多発性骨髄腫
5. 骨肉腫

問61 犬の胆嚢粘液嚢腫に関する記述として適当でないのはどれか。

1. ゼリー状物質が胆嚢内に充満している。
2. 無症状で血液検査でも異常が認められないことがある。
3. 胆嚢壁が壊死して腹膜炎を生じることがある。
4. 進行例では胆嚢の中心からの放射線状高エコー像が認められることが多い。
5. 胆嚢切開による内容物の除去が根治的な治療法となる。

問62 先天性門脈体循環シャントの結紮手術後に特に注意すべき合併症はどれか。

- a 高血糖
- b 腎不全
- c 肺水腫
- d 門脈高血圧症
- e 痙攣発作の重積

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問63 犬の喉頭麻痺に関連する神経として適切なのはどれか。

1. 顔面神経
2. 舌咽神経
3. 頭側喉頭神経
4. 舌下神経
5. 反回喉頭神経

問64 水晶体脱臼に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 硝子体内に脱臼する後方脱臼と前房内に脱臼する前方脱臼がある。
2. 原発性脱臼と続発性脱臼がある。
3. 毛様小帯の変性は原因の1つとなる。
4. 通常は発生時に眼内出血を伴っている。
5. 診断には細隙灯顕微鏡検査が有用である。

問65 犬で関節固定術が適応とならない関節はどれか。

1. 股関節
2. 肩関節
3. 肘関節
4. 手根関節
5. 足根関節

問66 モンテジア骨折の説明として適切なのはどれか。

1. 肘関節脱臼を伴う上腕骨外顆の骨折
2. 橈骨頭の脱臼を伴う尺骨近位の骨折
3. 股関節脱臼を伴う大腿骨頭の剥離骨折
4. 膝蓋骨の変位を伴う脛骨粗面の剥離骨折
5. 環軸関節の亜脱臼を伴う歯突起の骨折

問67 犬の椎間板疾患（椎間板ヘルニア）に関する記述として適切でないのはどれか。

1. ハンセン I 型と II 型に分類される。
2. 軟骨異栄養性犬種に好発する。
3. 老齢犬での発生が多い。
4. 頸椎に比べ胸腰椎での発生が多い。
5. 進行性脊髄軟化症を続発すると予後不良となる。

問 68 犬の全耳道切除術後の合併症として最も頻度が高いのはどれか。

1. 鼻出血
2. 顔面神経麻痺
3. 眼球震盪
4. 耳介の壊死
5. 耳血腫

問69 牛でびんつり法（bar suture）による治療が適応となる疾患はどれか。

1. 第一胃鼓脹症
2. 外傷性第二胃横隔膜炎
3. 第四胃左方変位
4. 盲腸拡張症
5. 腸重積

問70 乳牛の第四胃変位で認められることが多い異常はどれか。

- a 高カルシウム血症
- b 高カリウム血症
- c 低ナトリウム血症
- d 低クロール血症
- e アルカローシス

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問71 牛の精囊腺炎に認められる変化として適切でないのはどれか。

- 1. 奇形精子が増加する。
- 2. 精子活力が低下する。
- 3. 精液の pH が上昇する。
- 4. 精液のカタラーゼ活性が増加する。
- 5. 精液のフルクトース濃度が増加する。

問72 牛における生殖器の先天性形態異常に関する記述として適切なのはどれか。

- 1. 異性双胎では雄の胎子の生殖器に形態異常が起こる。
- 2. ホワイトハイファー病は中腎管の部分的形成不全が原因である。
- 3. 重複外子宮口では両側の子宮頸管が盲管で不妊となる。
- 4. 肉柱は受胎の妨げにはならない。
- 5. 膣弁遺残は膣と子宮頸の境界部分の索状物として観察される。

問73 豚の卵巢嚢腫に関する記述として適切なのはどれか。

1. 罹患豚は不妊症となる。
2. 単胞性嚢腫では黄体は存在しない。
3. 多胞性大型嚢腫では大型の嚢腫化卵胞の壁が黄体化する。
4. 多胞性小型嚢腫では発情周期に異常はみられない。
5. 治療にはエストロゲン製剤が用いられる。

問74 妊娠牛の子宮捻転に関する記述として適切でないのはどれか。

1. 子宮がその長軸に沿って回転する。
2. 左方捻転に比べ右方捻転の発生が多い。
3. 腔鏡による視診で捻転の有無を判断できる。
4. 胎子回転法による整復では胎子を保持して回転させる。
5. 母体の後肢を吊起すると整復が容易になる。

問75 繁殖生理に関する記述として正しいのはどれか。

- a マウスは重複子宮をもつ。
- b モルモットは完全性周期動物である。
- c ウサギの妊娠期間は約2ヵ月である。
- d フェレットは自然排卵動物である。
- e 山羊は周年繁殖動物である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問76 クローズドコロニーに関する記述として正しいのはどれか。

1. 3年間外部から種動物を導入していないコロニーである。
2. 近交系動物はクローズドコロニーで維持されている。
3. 遺伝子変異を有する個体は含まれない。
4. アイソラックで飼育されているコロニーのことである。
5. ICR マウスはクローズドコロニー由来である。

問77 病原体がビルナウイルスである疾患はどれか。

- a 伝染性造血器壊死症
- b コイ春ウイルス血症
- c 伝染性脾臓壊死症
- d ウイルス性腹水症
- e ウイルス性出血性敗血症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問78 魚類の白点病の病原体が属する分類群はどれか。

1. 微孢子虫
2. 粘液胞子虫
3. 繊毛虫
4. 鞭毛虫
5. 甲殻類

問 79 養殖魚類のオクロコニス症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 原因菌は黒色真菌に分類される。
2. 体表に白色綿毛状の菌糸の繁茂がみられる。
3. 原因菌は罹患魚の胃内で発芽する。
4. 原因菌の菌糸は無隔壁である。
5. マラカイトグリーンによる薬浴が治療に適用されている。

問 80 魚類のミコバクテリア症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 原因菌はグラム陰性長桿菌である。
2. 原因菌は海水魚には感染しない。
3. 第4脳室内にシストが形成される。
4. 腎臓に結節病変が形成される。
5. 無胃魚では発症しない。

